

平成 26 年 5 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

5 月期は、全体的には上向きの状況であるが、消費税増税の影響について、同一業種であっても、「増税後も消費量は極端には落ちていない」との報告の一方で、「消費税増税の反動で売上が減少したまま」、「消費税の転嫁が困難」という状況でもある。

また、運輸業界では輸送量が低下しているとの報告である。窯業・土石製品と建設業では、発注の増加もあり、仕事量が確保できており、一般機器、輸送機器でも少しずつではあるが、受注が増加する傾向であり、これからの景況改善に期待している。

県内企業は、依然として続く燃料費・原材料費の高止まりに苦しんでおり、景気の先行きに対する不安を払拭できないところである。

山口県の主要指標 DI 値（平成 26 年 5 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：15.0% 悪化：28.8% DI 値：▲13.8% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加：18.8% 減少：32.5% DI 値：▲13.7% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）


前年同月比は、好転：10.0% 悪化：26.3% DI 値：▲16.3% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 26 年 5 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲29 以上	 ▲30 以下
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲42.9	▲25.0	0.0	▲100.0	16.6	33.3	0.0	▲6.1
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	全 非 製造業
▲20.0	▲22.2	▲50.0	▲16.7	30.0	▲71.4	▲19.2
						

全 体
▲13.8


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	ゴールデンウィークは前年並み。組合員企業が1社、11月で廃業の予定。長門老舗ホテルの売掛回収不能の話もあり、売上の低下を嘆いている。	パン・菓子製造業
	4月度に引き続き5月度も最終+10%以上と前年同月を大幅にクリア。4/20リニューアルオープンした道の駅/阿武町が好影響している。内閣府・農水省が選ぶ「ディスカバー農山漁村の宝」に、当館の「萩の地魚もったいないPJ」が選定され、6/10に首相官邸にて表彰式の予定。5/26中小企業庁「地域力活用新事業」本体事業1年目に採択決定、プロジェクト名は「萩魚食王国」。	水産食料品製造業 萩市
	消費税増税後は商品の動きが止まった。これからは、お中元までをどのように売っていくかがポイントとなる。	水産食料品製造業 下関市
	農政改革により、政府は原則として水稻の転作への指導を取りやめ、積極的に転作物を増やし、加工米や飼料米の取り組みを推奨している。従来より業務用としていた米が、実需者から加工米としての取引を強要され、今年度から加工米扱いの品目が増加し、単価も下がり売上も下がった。流通サイドにおける低価格米への要求が更に強くなってきている。	精穀・製粉業
繊維工業	消費税増税後は、売上がダウンし影響があった。5月も店頭の売上は激減したままが続いている。販売先もキャンペーンなど懸命の展開を試みているが厳しい状況。6月あまり変化が期待できない。組合員企業の太陽光発電事業は5月26日から着工。	下着類製造業
	ゴールデンウィーク明けも順調に受注ができ、6月の受注もほぼ予定通りである。	外衣・シャツ製造業
木材・木製品	新設住宅着工戸数は微減で推移している。木材価格は、杉丸太が上昇。	製材業・木製品製造業 山口市
	木材需要も一段落し価格も低下傾向ではあるが、前年同月より良好の状況で推移している。しかし、先行きは不透明。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	例年ゴールデンウィーク明けから需要は落ち込み、夏場にかけて閑散期となる。今年は特に厳しくなると予測される。	印刷 下関市
	5月も相変わらずの受注難が続いている。	印刷 山口市
窯業・土石製品	対前年同月比は、骨材132%、路盤材125%、再生材129%、全体では130%の出荷量となっている。4月より6年ぶりに骨材の値上げが出来た	砕石製造業

	<p>が、資金繰りは相変わらずである。災害復旧工事が始まっているため、発注は多いが人材不足で、このままいくと工事の進行に遅れが出そう。</p>	
	<p>出荷量は、前月比96%、前年同月比123%。(一部地区において前年度比が大幅に増加したことによる。)現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていないが、砂、砂利、セメントなど原材料価格の値上げ圧力は、高まる傾向にある。</p>	生コンクリート製造業
	<p>3Dプリンターの計り知れない波及効果を、ものづくりをする者は知識として持つべき時である。</p>	石工品製造業
	<p>全国中央会で、活路開拓事業の補助金の採択を受けた。今後、市場調査等が業界の役に立つ事を望んでいる。</p>	陶磁器・同関連製品製造業
一般機器	<p>5月は、徐々に景気が上向いている様子である。機械据付の組合員は、受注先を通じてインドネシア・ベトナムへの輸出品を製作しており、漸く活気が戻って来ている。これからは真夏日が続くので、工場内を始めとする熱中症対策、ウツカリ・ボンヤリなどのヒューマンエラーの防止対策を講じなければならない。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>自動車、機械製造関係企業の設備の稼働率は上昇傾向にあり、人手不足から外国人実習生受け入れの相談も引続いてある。実習生の場合、入国まで6ヶ月位必要となるので、つなぎに臨時職員の紹介を依頼されることも多い。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>全体的な明るさはあるが、管工事に付帯する事業も発生する新規の設備投資がまだ本格的ではないため、売上には繋がっていない。消費税増税は、ほとんど受け入れられ、影響は殆どない。</p>	一般機械器具製造業 周南市
	<p>5月の設備操業度は4月同等。現状は金型組立、試作成形、立会い等で人員をシフトしている状況で、設計メンバーも含め6月も同様の稼働予定。受注状況は、8月納期予定が入ってきているが、月々の予算から見るとまだ不足の状態、受注にも一服感がある。各金型に付いて原価低減を行っているが、金型の低価格化、短納期で大変厳しい状況。他社と仕事の取り合いの状況が、価格低下の要因の一つとなっている。成形製品の設備稼働率は微増傾向にあるが、まだ受注量が不足している状況。新規案件の製品が、少しずつ立ち上がり始め、これからの受注増に期待するところ。</p>	特殊産業用機械製造業
輸送機器	<p>人材不足が目立ち始めた模様。</p>	船舶製造・修理業

	<p>鉄道車両部門は一進一退で、まだ上昇機運ではない。精密加工部門は夏以降の作業量の減少が懸念される状況。産業プラント部門は小部門ながら作業量が確保でき、当分の間、好調を維持できる見通し。</p>	<p>鉄道車両・同部品製造業</p>
卸売業	<p>原因は、不明だが、利益が出ている企業がある。</p>	<p>各種商品卸売業 防府市</p>
	<p>駆け込み需要の反動も、若干薄れて来た様に思えるが、本来の流通量に戻るにはもう少し時間が必要である。</p>	<p>各種商品卸売業 山口市</p>
	<p>消費税の駆け込みも3月までであり、5月の現在は落ち着いており、前年同月並みの景況である。もともと売上が落ちており、景気回復を望む。</p>	<p>各種商品卸売業 下関市</p>
	<p>例年は、ゴールデンウィーク及び子供の節句等で売上の増加があるが、今年は例年より落ち込んでいる。消費税増税の影響と思われる。</p>	<p>乾物卸売業</p>
	<p>入荷が少なく、相場も前年同月比よりも下がっている。消費税の転嫁は非常に困難であり、消費者の魚離れに拍車がかかりそうである。夏場に向けて、冷凍物の確保の資金繰りも苦慮される。</p>	<p>生鮮・魚介卸売業</p>
小売業	<p>消費税の駆け込み需要も落ち着いた模様。新製品の発売もあり少しずつ商品が売れ始めている。化粧品組合は、理事長をはじめとし若い役員中心の時代となった。</p>	<p>化粧品小売業</p>
	<p>酒・食料品店では、消費税増税の影響は薄れてきた。売上も次第にもどつつあるが、大型店やディスカウントショップとの競争で経営自体は苦しい。理美容店では、消費税増税により料金が高くなり顧客が流出している。衣料・呉服店では、季節の変わり目でお年寄りの購入が微増。電気器具店では、売上が落ちているので、新発売商品に期待している。薬品・化粧品店では、ディスカウントの薬局に顧客が流出。米穀店では、状況は悪化のまま。時計店では、出張販売（病院・介護施設等）を実施し業績アップを狙っている。家具店では、業務用家具（机・椅子等）に動きがある。地区の土木建設業では、職人不足が解消されておらず、職人の確保の苦労が続いている。岩国米軍基地関連事業は好調を維持しているが、その他の仕事は少ない状況。小売業では、消費税増税後も消費量は極端に落ちていない。自動車関連では、マツダの業績が良く、下請けの工場も引き続き好調である。</p>	<p>各種商品小売業 岩国市</p>
	<p>まちあい徳山の総会が開催された。空き店舗解消の対策で30数店舗が出店となった模様である。これからの中心市街地の商業活性化、個店の活性化の方向に期待したい。</p>	<p>各種商品小売業 周南市</p>

	消費税増税の影響と思われる4月の売上は、最終として前年同月比▲5.2%となった。5月はプラスになる模様だが、取り扱いの商品によって売上の差が大きく、美容関係は+3.8%、時計・宝石等は▲48.2%となっている。	各種商品小売業 山口市
	食料品を除く業種については、4月同様 消費税増税の駆け込み需要の反動か、前年売上をかなり割り込んでいる。	各種商品小売業 長門市
商店街	消費税増税はあったが、「良い物」を求める人が多く、5月に入って全店舗ではないが売上も上昇している。5月は連休もあり、来街者数・駐車場利用台数も4月より少し増えた。	山口市
	仕入価格の上昇に伴う値上げで、消費者の買い控えが見られる。しかし、個々のお店の対策は不十分にみえる。その中で、若い出店者は、レイアウトや販売方法に工夫が見られる。	萩市
サービス業	いまだに、駆け込み需要の反動で、買い控えが続いている感がある。消費税増税による取引金額の増大により資金繰りが厳しい。	美容業
	何とか頑張っている状況で、組合員の状況は良くない。	理容業
	4月の車検台数が対前年同月比で▲15.8%となり大きく落ち込んだ。消費税増税前の駆け込み需要により新車が多く売れたことが原因と思われるが、整備専業工場は車検売上げの比率が高い事業場が多いことから、経営環境が一段と厳しくなることが心配される。	自動車整備業
	売上は、駆け込み需要の反動で落ちてはいるが、減少幅も前月と比べて落ち着いてきている。今後は、季節も夏に向かってクーラー等の需要も高まると思われ、例年通りであれば順調な売上ではないかと思われる。長雨、冷夏が重なれば売上の大幅減もありうる。	
	この3月、下関地区にフィットネスジムの新規出店があり、全体的にフィットネス人口は増加したと感じている。スイミング人口に変わりない。下関地区は人口減少と少子高齢化が進んでおり、特に少子化の影響を受けている。	スポーツ・健康教授業
	消費税増税の影響が懸念されたが、影響はほとんどなく宿泊人員及び売上も前年同月比で10%近く伸びた。特に県内からの宿泊客の伸びが大きかった。	旅館業 山口市
	ビジネス系は、先月と同様にスポーツ団体・デパートのイベント宿泊・インバウンドの宿泊があったが、単価は安価であった。結婚式などは、不調で苦戦を強いられている。観光宿泊は伸び悩み、前年を割る	旅館業 下関市

	<p>施設が目立った。売店の売れ行きが良く、総会が多い時期の宴会で、前年同様の売上実績が上がっている。しかし全体的には、「6月も良い話がない。」という声が多い。</p>	
	<p>5月の売上高は前年同月比で減少したが、営業利益は前年同月と変わっていない。前月に消費税を含む入浴料の改定を実施。売上高は経済環境の影響を受け易く、組合員は資金繰りの厳しい状況が続いている。</p>	旅館業 長門市
	<p>消費税増税により、食材を中心に仕入れ価格の上昇が続く割には、消費動向は上向いていない。比較的安価で美味しさも当たり外れが少ないチェーン店での飲食が多く、地元の「食」を楽しむ様子は多くない。山口県も積極的な「仕掛け」が必要な時期に来ているように思う。通常の運転資金や簡単な設備更新のための、公庫借り入れが増加している。</p>	飲食業
	<p>3月の駆け込み需要による売上増の後、4月の増税後は節約傾向に入ると思ったが、例年通りの傾向で、前年同月と変わらない売上となり順調に推移している。しかし、ここ数年は同業者の廃業も多く、他店からの顧客の流入も多いが、あまり楽観視はできないといったところ。また、消費税増税に伴い、ここ最近の資材の値上がりを合わせて基本価格も値上げしたこともあり、売上自体は前年と変わらないようには見えるが、クリーニングに出る品物の点数は確実に減少傾向にある。</p>	普通洗濯業
建設業	<p>中電への工事申請は3月147件（当支部分113件）、前年同月267件（同232件）。太陽光発電への申請9件、オール電化申請28件（前年は太陽光3件、オール電化34件）。LED街路灯への切替・新設申請は61件（前年141件）であった。駆け込み需要の反動が窺える。</p>	電気工事業
	<p>年度末を越え工事量は落ち着いてきた。しかしながら手持ち工事量は多く先行きは明るい。岩国・周南地区では県外（広島・東京・岡山・熊本等）から左官技能工が流入している。</p>	左官業
	<p>公共工事のうち、市町予算は増加傾向にあるが、県の骨格予算は大幅な減となっている。また、繰越工事は増加するとされていたが、思ったほど増加していない状況。型枠工や鉄筋工の不足で、一日当たりの単価が大幅に増加しており、人件費が重い負担となっている。</p>	土木工事業 柳井市
	<p>5月の受注高は、対前年同月比12%の増加。今年度の累計は、対前年比99.6%の増加。災害復旧工事が続いている。</p>	土木工事業 萩市

	<p>4月、5月は入札が無く前年度同様の状況。今年は、単価の見直しがなされたことから、発注金額・発注量とも増加が見込まれる。各種資材の値上げがあっても、それに見合う収益が見込まれるので、景況としては良いイメージである。</p>	管工事業
運輸業	<p>5月の輸送量・収益は前年同月比で約25%の減。年度末の駆け込み需要の反動と長い連休の影響も少なからずあるが、月後半から国内および輸出量が横ばいから下向きとなり、車両の動向もゆるやかとなったようであった。油価格は2.7円の値上げ。また、消費税増税の影響もあり、中小輸送業者にとっては一段と厳しい経営内容となってきている。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>上向き傾向にあった輸送稼働も昨年の水準を下回った。自動車関連の大手製造業者は海外生産にシフトしており、その影響が顕著なものとなって来た。今後このような傾向にあり、燃料費も高止まりの中、厳しい状況が続きそうだ。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>荷動きは、依然厳しい状況が続いている。燃料も高止まりしており、顧客への値上げの依頼も継続してお願いしているが、なかなか難しい状況である。製品が売れない模様で、倉庫の荷物預かり案件が増加してきている。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>現況では燃料費が一番経営に影響を与えている。10当たり132円の公示価格が、133円となり、益々経営は苦しさが増大した。下関市では輸出入の貨物が減少しており、下関の運輸業界では大きな影響が出ている。外資系の油業者が長年の取引で若干安価なため、組合の燃料の共同購入事業は取り止め、組合員の自由購入とした。5月は大型連休もあり輸送量が減少している中ではあるが、組合運営は組合員の協力もあり、荷物の保管料等は順調に実施出来ている。</p>	一般貨物自動車運送業 下関市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲3.6%（平成26年4月1日～平成26年5月20日分）4月1日～30日分は▲6.5%、5月1日～20日分は+2.0%となった。5月になって少し落ち込みが少なくなったように思うが、防府は前年より減少、周南が大幅に減少、光市地区と下松地区の減少幅は少なくなってきた。例年、観光産業の乏しい当地域では、連休期間のタクシー利用客が大幅に減少する。燃料のLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、前月分よりCPが下降した事でタクシー会社の購入単価は先月より4%下がったが、前年5月分に比べ+4%と高値となっている。タクシー運賃は、消費税の増税分の変更となったが、</p>	一般旅客自動車運送業

	増税に伴う諸費用も加わり、タクシー事業者の収益 状況は苦しい。	
--	------------------------------------	--